

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 必ずコイズミ照明(株)指定ランプを使用する。 (火災・感電・落下の原因)	禁止	器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
			器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)	禁止	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)		器具は指定の制御装置と組み合わせて使う。 (過熱して火災の原因)
	光を直視しない。 (長時間直視すると目を痛める原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。 ※使用条件は周囲温度 30℃、1日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。		●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ●3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。	

器具の取扱い	
■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。	■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。 ■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃	
適合ランプ LDL40	
・コイズミ照明(株) 指定ランプを使用してください。 ・本器具の入力特性は、別紙 取扱説明書 (E770Z361) の『LDL40S 一般屋内 入力特性表 ②』をご覧ください。 ・器具の清掃、初期照度補正形(タイマーリセット)のランプ交換は、別紙 取扱説明書 (E770Z361) をご覧ください。	

保証について	■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
--------	---

異常時の処置	警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。
--------	--

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	

製品・お取り扱いなどのご相談は	
お客様相談室	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-055123
受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	
修理・アフターサービスのお問い合わせは	
サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-015123
	FAX  0570-025123
受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

E763Z675H27

保管用

LED 照明器具	[20～100%連続調光可]
----------	----------------

型番 XH90012L

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、**警告**、**注意**の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。
---	---

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

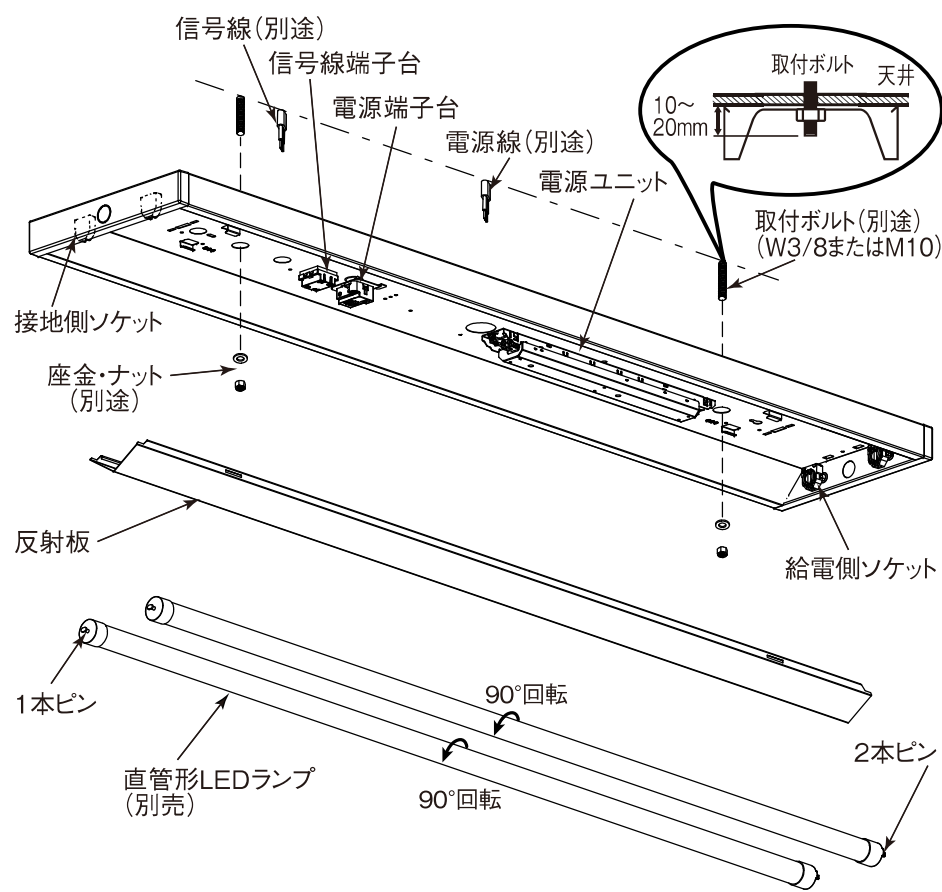
注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
禁止	高温(35℃を超える)、高湿(85%RHを超える)、粉じん、油煙の多い場所、腐食性ガスやオゾンが出る場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。 (落下・感電・火災の原因)	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。(火災・感電の原因)
	器具を密集して取付けない。(10cm 以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)		一般屋内用器具です。屋外、水気・湿気のある場所(例:トイレ・厨房・脱衣所など)、及び軒下、屋外通路、アーケードなどの雨線内では使用しない。 (火災・感電の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)		5℃以下の低温域で使用しない。 (結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因)
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(過熱による火災の原因)	厳守	必ずコイズミ照明(株)指定ランプを使用する。 (火災・落下・感電の原因)
	直射日光の当たる場所で使用しない。 (変色・変形・火災の原因)		

お願い	
■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。5℃以下の低温域での使用は、結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因になります。 ■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。	■油煙のある場所では使わないでください。 (光学特性が低下する原因となります。) ■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。 ■電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

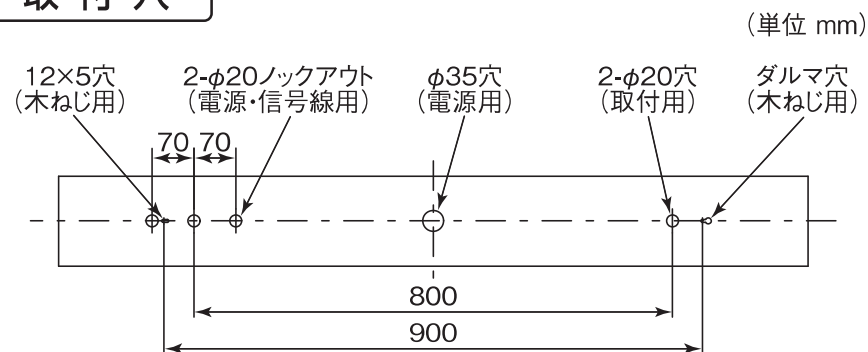
お願い	
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によってはムラが気になる場合があります。ご了承ください。	●LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

知っておいていただきたいこと	
○点灯、消灯時にカバー、反射板、ランプの収縮・膨張により、きしみ音や反りが発生する場合がありますが、異常ではありません。 ○電源 ON 状態でランプ交換を行わないでください。保護動作にてランプが点灯しない場合があります。その際は、電源を入れなおしてください。	○連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさがばらつくことがあります。予めご了承ください。 ○誘導及び空間波無線に対する影響 使用周波数が数百 kHz の誘導無線(同時通訳システム)及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

この説明書は、再生紙を使用しています。



取付穴



1 取付前の確認

○器具質量（約 3.2kg）に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。

- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用する。

⚠ 警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線・信号線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

⚠ 警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3-1 電源線を電源端子台に接続する

（初期照度補正形で使用する場合、3-2 項は不要です）

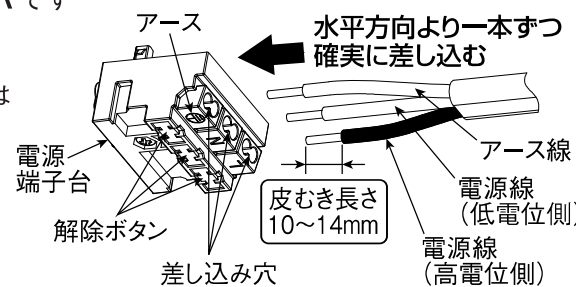
- (1) アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。
- (2) 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

<D種（第3種）接地工事が必要です。>

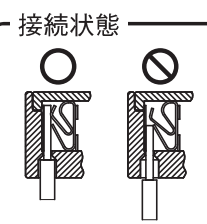
○電源端子台の容量は **20A** です

○適合電線：
φ1.6mmVVF 単線 または
φ2.0mmVVF 単線

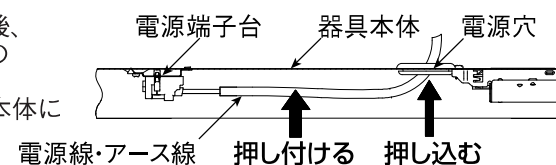
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーで解除ボタンをまっすぐに押す。



⚠ 警告
・送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）
・電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにもむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



- (3) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴に押し込み、電源線を器具本体に押し付ける。



3-2 信号線を信号線端子台に接続する

（連続調光で使用する場合のみ）

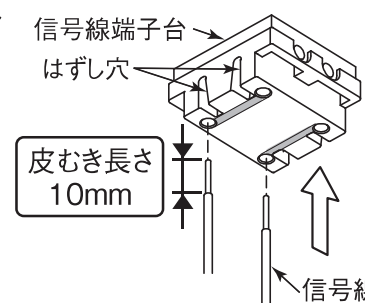
○信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

適合信号線：φ0.9mmCPEV-1P または φ1.2mmCPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

○調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。

○信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

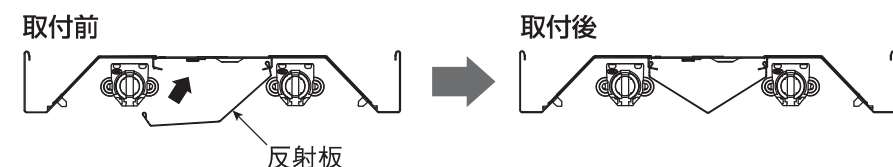
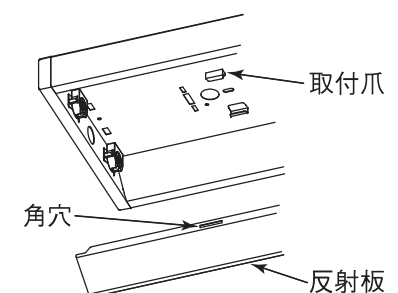


⚠ 警告
信号線端子台には電源線を接続しない（過熱・損傷し火災の原因）

4 反射板を取付ける

○反射板の角穴を本体の取付爪に片側 2ヶ所を引っ掛け、反射板をつまみながら、もう一方の角穴を取付爪にはめこむ。

⚠ 警告
反射板取付けの際は電線をはさまない（絶縁不良により感電・火災の原因）



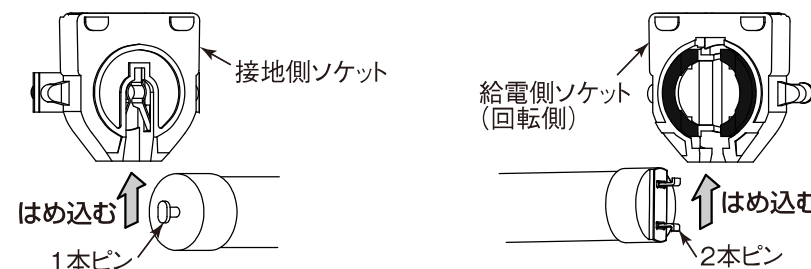
○反射板取付後、下に引下げ、確実に取付いていることを確認する。

⚠ 注意
取付けが不完全な場合落下の原因

5 ランプを確実に取付ける

○工場出荷時の光束値はランプ定格光束の約 76%に設定されています。

- (1) 接地側（ランプ 1 本ピン）を取付ける。
- (2) 給電側（ランプ 2 本ピン）を取付ける。



- (3) ランプの発光部が照射方向となるように 90 度回転させ確実に取付ける。

⚠ 注意
取付けが不完全な場合落下の原因

